



杉二だより



令和4年度 12月号
 杉並区立杉並第二小学校
 〒166-0016 杉並区成田西 3-4-1
 TEL 03-3313-0564
<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi2shou/>



贈る「しあわせ」、受け取る「しあわせ」

早いもので、師走を迎えました。振り返ってみると、令和4年も激動の一年だったと感じています。校舎改築、コロナ対策等の様々な課題がありました。しかし、たくさんの方々の理解や支援によって、「しあわせの風が吹く学校創り」が前向きに進められたことに、感謝申し上げます。ありがとうございました。

年度当初にもお伝えしましたが、今年度は青少年赤十字が創設されて100周年の年です。これまで、特別授業をしてくださった方やお世話になった方に、「みんなにありがとうプロジェクト」として、積極的に感謝の気持ちを伝えてきました。また、ルワンダこども支援募金や一円玉募金、古切手回収、クリーン作戦等に全校で取り組んでできました。**先般、秋の令和4年度東京都赤十字大会において、本校が銀色感謝状を受け取りました。**(銀色は赤十字活動を5年間継続した学校に贈られます。)また、東京都教育委員会から、これまでの青少年赤十字活動を評価し、本校を文部科学大臣優秀教職員表彰に推薦するという「しあわせなお知らせ」が届きました。本当にありがたいことです。

さて、12月は青少年赤十字活動の一環として、「自分を支えてくれる存在に感謝」をテーマに、家族や友達、身近な人、または未来の自分に「ありがとうの気持ち」を手紙で伝える取組を行います。これは、日本赤十字本社の100周年事業でもあります。手紙を書くことで、子供たちの「気付き」の機会となり、相手を「考える」ことで、自分ができることを「実行する」主体的な行動を期待しています。青少年赤十字の「気付き・考え・実行する」活動は、SDGsが目指す、豊かで活力ある未来を創ることに繋がります。

また、「やさしさ」の詰まった手紙を受け取った人は、とても「しあわせ」な気持ちになると思います。まさに、贈る「しあわせ」と受け取る「しあわせ」が、そこに存在します。したがって、やってもらって当たり前と考えたり、やさしさを受け取らなかつたりしたら、双方がしあわせを感じることはありませんでしょう。「やさしさ」や「しあわせ」には、贈る側と受け取る側が存在するのです。だからこそ、お互いを思いやる気持ちやお互いを大切にす**る行動が、「みんなのしあわせを創る」のだと考えます。**

今後も、杉並区教育ビジョン「みんなのしあわせを創る杉並の教育」や本校の教育目標「やさしくなる しあわせになる」をもとに、「やさしさ」や「しあわせ」について、子供たちと一緒に考え、行動していきたいと思ひます。

12月のあいさつ標語

○あいさつで ころろいっばい はなっばい
 2年生 児童作品

○おはようは 心の入れ替え スイッチなのさ
 4年生 児童作品

12月の生活目標 「進んで仕事をしよう」

今年も大掃除の時期がやってきました。係や当番の仕事は、友達と協力して、しめくくりの活動をします。また、各自の机やロッカー、靴箱の中など、身の回りもきれいに整えるようにします。清々しい気持ちで新年が迎えられるように。